

## 祝福と恵みの チア・オリンピック

8回目を迎えたチア・オリンピック、今年も多くの皆さんと共に、神様の祝福を確信し、喜び、励まされる大会が与えられました。

今回、初の11月開催ということで、東京中の競技場の予約が難しい中、神様の恵みで、府中市民陸上競技場が土曜日に与えられました。

前日は冷たい雨で肌寒い1日でした。当日も1週間前の天気予報は雨で、雷や台風でない限りは、雨天決行を呼び掛けつつ、祈り備えました。おかげさまで事前登録者の皆さんが多く、今年も210名を超え、当日は雲一つない紺碧の空。そして9月下旬のよくなぽかぽか陽気で、自然と外で走りたくなるような陽気でした。

「この日を目指して、親子で1年越しでトレーニングしてきました」「参加者がとても多くて驚きました」「今年は家族みんなで来られてよかった」「初めてですが、よろしく願います」

そんな楽しい会話の中、下記のピリピ3章13～14節を読んで1日がスタートしました。「私は、自分はすでに捕らえたなどと考えてはいません。ただこの一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目指して一心に走っているのです」

午前の部は、0歳児から50代後半までが、25、50、100m走と走り幅跳び、そして1500m走に挑戦。「進行がスムーズでびっくりでした」とうれしい言葉もいただきました。毎年、いろいろと工夫を重ねていますが、今年の特徴としては、ボランティアの皆さんが多数与えられたことが大きかったです。お父さん、お母さん、OB・OG、中高生…と、皆さんが生き生きとリーダーシップを取ってくださったり、走り回ってくださり、とても助かりました。コンベンションや白馬も助けが必要ですので、ぜひ、ご応募ください。

富山からもチャーチ&ホームスクーラーOGの金子賛美さんが泊まり込みで駆けつけてくれ助



疾風のごとく 100 m !

かりました。金子さんは、姉妹4人らと共にホームスクーリング型チャーチスクール（お父さんが牧師で校長。教会員の女の子1人と5人で学習）で育ちました。山間部に近い場所にある教会の果樹園（約25種類の果樹）や野菜畑の責任を持ち、季節によっては毎週釣りに行って、ほぼ自給自足に近いご家族の食事の糧を得ています。また、独学で英検、スノーボード共に1級を取りつつ、チア・マガジンの文字起こしを手伝ってくださったりして活躍中です。コンベンション等にはなかなか参加できないでおられますが、チアのニューズレターは、毎号、家族みんなで輪読、熟読されているということで、6-7年前に、1度書いた祈りの課題等、詳細まで心に留めていてくださり、驚きました。神様と親の愛情と犠牲によるホームスクーリングのもと、特に大自然の中で育つとこんな風に素直にまっすぐに成長するのだなと、とてもうれしかったです。

### 神様にある家族のネットワーキング

「ネットワーキングタイム楽しみです」今回も、そのような声をたくさんいただきました。お互い知り合ったり、近況を知って互いに励まし合ったりすることが、チアの企画の目的の一つです。とはいえ、210名全員のアップデートは、時間的にも大変なので、昼食スタートと共に始まりま

す。1家族1分の制限時間内の報告、また初めてや久々の皆さんからのご挨拶等に、とても励まされました。

山口からご参加の藤山いずみさん「大阪コンベンションでホームスクーリングを決断しました。中四国九州方面でもチア・オリンピックやコンベンション等の開催があればなおうれしいです。この働きが大いに用いられるよう私もほかの人たちに勧めていきたいです」

栃木から参加された秋山洋子さんは、3年前にご主人の隆紀さんが心臓発作で突然、天国に召される、とても悲しい体験をされました。「主人は、娘をホームスクーリングするんだとよく話していて。きっと喜んでくれると思います」と去年のコンベンション会場で伝えてくださった秋山さん。

隆紀さんは、サマーキャンプもコンベンションも白馬もレギュラー参加で、その笑顔が私の心にも深く刻まれています。本当に残念でしたが、きっとオリンピックで活躍する母子を見て、天国で喜ばれているだろうなと思いました。「勝ち負け関係なく、みんながイエスさまにあって金メダルなんだと感じられた一日でした。5歳の娘もホームスクーラーの友人ができ、健全な競争、みんなで力を合わせての勝利が体験できて楽しかったようです。ホームスクーラーの子どもたちの実（素直さ、献身的な態度、マナーの良さ）を見ることができ、この方向性が間違いではなく、神様の願いだと確信することができました」とのことです。いつも秋山さんをサポートしておられる又川貴子さんも一緒に参加され、レースにも積極参加で楽しんでおられました。

長野からも大勢来てくださり、その中にお父さんの英基さんが長く闘病中の、小畑望君(19)、喜歩さん(14)もボランティアでかけつけてくれました。とてもうれしかったです。英基さんのこともぜひ、続けて祈っていただきたいと思います。

女子プロレスラーの世界チャンピオンだった里美和

さん、天野百合香 前校長らが率いるリバーサイド・インターナショナル・スクールも参加。絵画コンクールや読書感想文大会には常連参加で、子どもたちの名前は、審査員の私にはなじみがあり、それぞれよく知っています。それだけに、直接笑顔が見られてうれしかったです。去年は、里さんと天野前校長と2人で視察参加。「大歓迎モードがうれしい」と喜ばれ、今回は昨秋のチア・ジョイスイミングに続いての全校参加でした。「世界レベルのクリスチャンアスリートへの秘訣は？」と聞くと「やはり聖書の御言葉！です」とのこと、「聖句を蓄え、聖書に生きることですね」とのことです。

堀井祥子さんは、細菌性髄膜炎の頭部の手術を控えたホームスクーラーママの井澤満美子さんについて祈りを呼び掛けてくださいました。井澤満美子さんご本人と、ご主人の紋庸さんによると、11月21日に手術が行われ、順調な回復に向かっているそうです。満美子さんについても、引き続き、お祈りを願います。

### 一層の体と心のケアを教えられて

当日、個人的に学んだことを分かち合います。伝道や充実したホームスクーリングと仕事、天国を目指して、日頃から、健康診断、食事、運動、睡眠の鍛錬が必要ということです。



ティーン女子たちも走る！

オリンピックの今年の目標は、これまで同様、「けがをしない程度に、全力で全競技種目を駆け抜ける」ことでした。神様は、毎年、良きライバルを与えてくれます。昨年、秒コンマで競い合った衣笠健三さんは、今年は仕事の関係で、ご家族だけが参加でした。その代わりに浮上したのが佐藤尚樹さん（41）でした。私より15歳若い元野球選手で、チア・オリンピック目指して、トレーニングを積まれてきたそうです。100m走で負け、

1500mで勝つことができました。200mは、佐藤さんは1位で私は3位。400m走…神様に感謝しつつ、全力を尽くそうと思い、350m過ぎまではトップを快走しましたが、最後の30mは完全に酸欠状態になってしまい、急速にスピードが落ち、佐藤さんが逆転勝利でした。佐藤さんは「え、これ400だよ。こんなに（最初から）速くていいの?」と思われたほど、高速で走り続けたのですが、逃げ切りはならず、ラスト20mは自分の体ではないような状況になって、もがきながらのゴールでした。ゴール前にあきらめてしまい、それは来年への課題です。

でも後で、一昨年まで私が全敗していた志賀信泰さん（43）から、うれしいメールをいただきました。「短距離走で今年は稲葉さんに全敗を喫したので来年は負けないように準備したいです」（1500mは志賀さんが速かったです）。少しは目標になれてよかったな—と思いました。

5年前に、当時55歳だった堀井洋二さんがさっそうと200m走をするのを見て、自分も5年後、そうありたいと思い、祈りました。去年、その祈りは答えられましたが、今年も走り切ることができ、年下のお父さんたちへの刺激にもなれて、神様に感謝しました。

佐藤さんから「来年に向けて今朝も夜明けの暖かい布団から出たくない体にムチ打って4℃の中3kmを走りました」とメールをいただき、うれしかったです。

胃腸が食事を受け付けず  
日常の鍛錬の必要に気づく

さらなる学びは、その後でした。その夜、カレー屋さんでカツカレーを食べたのですが、



激走・お父さんたちの200m走。筆者（56歳、写真右）ら、励む！



400m走は、残り25mで酸欠。佐藤尚樹さん（41歳、写真左）が逆転！

深夜、熱が出て、10回あまり嘔吐との激闘が待っていました。100キロ走、300キロ走といったウルトラマラソンや、グレートレース系の競技では、レース後、胃が食物を受け付けなくなる場合が多々あります。私の消化機能も止まったようでした。100、200、400、1500 m、ジャベリック、ソフトボール投げ、走り幅跳び等の種目に加え、当日の進行や「近況報告」、「表彰式」等を全力で行って力が尽き、完全燃焼でした。翌日以降もいろいろとあったので、だましだまし動きましたが、幸い2日後ぐらいに熱は下がり、嘔吐も終わりました。その後、1ヶ月あまり肉系は食べたくなく、今もちょっとずつです。

この体験の中で、日頃の鍛錬や食生活の改善等、心身のケアの重要性を改めて思いました。今年の2月、30年ぶりの健康診断を受けました。きっと健康優良児とほめられるだろうと思っていたら、たくさん再検査項目がありました。胆のうにポリープがあり、再検査をしたところ、ガンかもしれないし、ただのコレステロールかもしれないとのことで、経過観察となりました。高血圧の指摘もありました。11月の健診では上記に加え、慢性胃炎と胃潰瘍ほかで、胃がんになる疑いもありとのことで人生初めて胃カメラチェック&胃壁を採取される体験をして、結果待ちです。高血圧では、薬を飲むことにもなっていました。いずれ天国に向かう、限りある人生ですが、最大限、ホームスクーリングの強い目的を達成するためにも、家族への責任を果たしていくためにも、本当に日頃のケアが大事だなと思った次第です。そのような中で、チア・オリンピックが、自分自身にも子どもたちにも、目標と励ましの一つになってよかったな一と思い、神様に感謝しました。

### 神様からのメダル

今年は、メダルを一人1個にし、複数受賞者も最高位のメダル1つを代表して受け取り、神様に感謝しようと励ましました。ここ数年、メダル総数を450個にして、多い受賞者は一人6-7個をぶら下げて帰るダイナミックさもありました。今



メダルの喜び。神様、見上げて

回は、一つに集中して喜びと感謝をかみしめるトライアルを試してみました。アンケートを読む限り、好評でした。

入賞できなかった全参加者にも神様からの応援として金メダルを提供しましたが、それも会場全体が温かい応援の雰囲気と拍手となってとてもよかったです。いずれにせよ、神様からのメダルと励ましも感謝し、素敵な1日を過ごせました。